

都城工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	思想文化論	
科目基礎情報							
科目番号		0077		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科		機械工学科		対象学年	4		
開設期		後期		週時間数	後期:2		
教科書/教材		貴成人『図説・標準 哲学史』新書館、2008年、978-4403250934					
担当教員		高畑 菜子					
到達目標							
1 講義で扱う哲学者の中心概念や主要な論点について理解し、説明できるようになる。 2 いくつかの論点について、自分なりに筋道をたてて論じられるようになる。 3 西洋哲学の主要な著作を読むことができるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安 A	標準的な到達レベルの目安 B	未到達レベルの目安 C	(学生記入欄) 到達したレベルに○をすること。		
評価項目1		哲学史的な背景を踏まえて基本的な用語を理解し、自分の言葉で説明できる。	西洋哲学の基本的な用語を理解し、説明することができる。	西洋哲学の基本的な用語を理解しようと努力することができる。	A ・ B ・ C		
評価項目2		授業で扱う哲学者の議論の流れを理解したうえで、自分なりの論点を発見し、それについて論理的に述べる ことができる。	授業で扱う哲学者の議論の流れを理解し、説明する ことができる。	授業で扱う哲学者の議論を断片的には理解できる。	A ・ B ・ C		
評価項目3		文献に書かれた内容を正しく理解し、要点をまとめる ことができる。	文献に書かれた内容をおお よそ理解できる。	文献を読もうと努力するこ とができる。	A ・ B ・ C		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この授業では、古代から近代に至るまでの西洋哲学の歴史を概観する。プラトン、デカルト、カントといった主要な哲学者の思想を取り上げ、彼らが何を問題とし、その問題にどのように取り組んだのかを考察していく。						
授業の進め方・方法	授業は、基本的にパワーポイントを用いた講義形式で行なう。						
注意点	1 事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。 2 授業で資料を配布するので、授業内容を振り返りながら読むこと。 3 レスポンス・ペーパーやレポートなどの提出物を課すことがあるので、提出の注意事項・期限を守って提出すること 。						
ポートフォリオ							
(学生記入欄) 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。 ・前期中間試験まで： ・前期末試験まで： 【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。 (記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。 ・前期中間試験 点数： 総評： ・前期末試験 点数： 総評： 【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。 ・総合評価の点数： 総評： ----- (教員記入欄) 【授業計画の説明】実施状況を記入してください。 【授業の実施状況】実施状況を記入してください。 ・前期中間試験まで： ・前期末試験まで： 【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	イントロダクション	授業計画・到達目標・成績評価の方法について理解し、与えられた課題をこなす。			
		2週	哲学とは何か	哲学という学問が、自然科学などの他の学問とどのように異なるのかを理解する。			

		3週	ソクラテス——彼はなぜ殺されたのか	いわゆる無知の知について理解する。
		4週	プラトン——イデア論	イデア論について学ぶ。
		5週	アリストテレス——正義とは何か	アリストテレスの倫理思想を概観する。
		6週	デカルト——その生涯と著作について	デカルトの生涯と著作を把握する。
		7週	デカルト——私は考える、ゆえに私は存在する	方法的懐疑について理解する。
		8週	後期中間試験	試験の実施
	4thQ	9週	後期中間試験の解説	試験答案の返却と解説
		10週	ライプニッツ——モナドには窓がない	モナドという概念についておおよそ理解する。
		11週	イギリス経験論——ロック	イギリス経験論の思想的特徴の大枠を捉える。
		12週	イギリス経験論——バークリ、ヒューム	イギリス経験論の思想的特徴の大枠を捉え、両者の論点を整理する。
		13週	カント——その生涯と著作について	カントの生涯と著作を把握する。
		14週	カント——コペルニクスの転回	コペルニクスの転回について学ぶ。
		15週	カント——わが内なる道德法則	カントの倫理思想を概観する。
		16週	学年末試験 (17週目は試験答案の返却と解説およびポートフォリオの記入)	試験の実施

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	5	0	35	100
基礎的能力	40	0	0	5	0	25	70
専門的能力	20	0	0	0	0	10	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0